

令和3年度 郡山ヘアメイクカレッジ  
学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

### 1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②厚美 直樹 N/hair design代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 学校長

### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和3年 8月 30日 本校会議室

第2回委員会 令和4年 3月 28日 本校会議室

### 3. 学校関係者評価委員会報告

#### ①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

#### ②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

##### 【令和3年度に定めた課題事項】

- 学生の安全を課題に環境整備及び学習カリキュラムなど臨機応変に対応する準備を整える。
- サービス業の基本であるコミュニケーション能力(言葉遣い・マナー・礼儀・返事・あいさつ)を高めさせる。
- 学力、技術面における個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、美容業界で望む人材を育成する。
- 教職員のレベルアップとニーズにあわせた授業・カリキュラムの構築。

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

##### ①課題

- ・学校の理念や育成人材像等の学生への周知。
- ・今現在の社会の状況では本来すべき活動が制限されてしまい学校内においても人数も多く思ったことができない。
- ・サービス業としてのコミュニケーション能力に関して、基本的なことがまだ自分から発していない生徒が中にはいる。
- ・コロナ感染予防対策が全ての基準となってしまう、本来のコミュニケーションのとり方や積極的な将来目標に結びつくような活動ができなかった。

##### ②今後の改善方策

- ・学生が目指している人材像など指導する側も常に意識して日々授業をしていく。広報活動を通じて伝えていく。
- ・感染対策他オンラインの活用
- ・言われる前に自分から行動していけるように指導を徹底していく。
- ・今年卒業の学生は、コロナ禍で入学しコロナ禍で卒業していくので今回の学生をモデルプランとしてよりよい教育活動を考えていく。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

①課題

・ほぼ適切なものとして整備されて来ていると思うがやるべきことが多くなっている。(時期的なものもある)  
 ・学校の特色を活かしながら、今の学生に合わせた学校や教育活動を実施する。

②今後の改善方策

・むずかしい。

・特に選択コースの内容の見直しが必要かと思う。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の観点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

・職員の能力開発のための研修が実施できない。業務過多(人教的)社会情勢などの要因  
 ・実技、学科の成績が低い学生への指導  
 ・教職員の能力開発については、今の情勢で難しい部分もあるが、国家試験の改革や時代の流れに合わせて取り組まなければならない。

②今後の改善方策

・職員が学んでみたいこと実施したい研修など意見を募る。

・授業だけではなく放課後などの時間での個別指導、プリントを用意し宿題をさせ勉強をするという環境をつくる。

・まっ毛エクステンション授業を指導できるよう教員の育成(研修)が必要。

③特記事項

・美容師として必要なまっ毛エクステンションについての知識はもちろんだが、教員としてもう少し深く広い知識も(デザイン等)必要だと思う。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

#### (4) 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・就職率の向上が図られているか	4	③	2
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

##### ①課題

- ・退学率に関して人間関係や美容業に対する目標がないなどによって退学してしまう生徒がいる。
- ・卒業生の離職率(県外・内)国家試験の合格率。
- ・卒業生、在校生の活躍等を学生に周知させる機会があまり無い。
- ・資格取得はもちろん、就職活動への意欲をもたせる。

##### ②今後の改善方策

- ・美容師という職業をしっかりと理解してもらう。人間関係に関しても状況を確認しつつ声かけ等をしていく。
- ・LINEなどを通しての後追い。
- ・国家試験へ対しての意識づけ、早いうちからの衛生面の徹底。補講等。
- ・ホームルームや教養、授業の隙間時間等を使い、学生に伝え、就職や美容に対する意識の向上を目指したい。
- ・卒業後のビジョン、目標を持たせるための授業内容を検討する。

##### ③特記事項

- ・コロナ禍で難しいかもしれないが、やはり先輩アシスタント(卒業生)から直接講話をしてもらうなどが刺激になるのではないかな。

##### ④学校関係者評価委員コメント

- ・学生をみると昔と違って難しい時代であると思う様々な事をクリアするのが大変であると意見をもらった。

#### (5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

##### ①課題

- ・就職に対する意識が低い学生やメンタルが弱い学生に対する指導や相談の対策。
- ・学生本人へ就職の意欲を持たせる。

##### ②今後の改善方策

- ・学年、クラスへの全体の指導だけではなく、個人での指導をしていく。学生に対する目配りや相談がしやすい環境づくり。

##### ③特記事項

- ・特になし

##### ④学校関係者評価委員コメント

- ・学生への説明や向き合う事が足りないのではないかな、先生方が気付かなければ学生たちへは届かないと感じたとの意見をもらった。

## (6)教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

### ①課題

- ・通信課程においても避難経路の確認をさせる。
- ・コロナ禍の中で、在校生が多く、教室の使い方を考える必要性。
- ・人を集めての授業が出来ない中での美容実習の授業の進め方
- ・コロナ禍により学校外での活動は難しい。

### ②今後の改善方策

- ・通信スクーリング時、計画に組みこむ。
- ・オンライン授業をうまく取り入れる。
- ・タブレットを使用し、一人一人が手元の技術を確認ができるようにしたり、資料を用意する。

### ③特記事項

- ・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (7)学生への受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

### ①課題

- ・少子化の中での今後の学生募集。

### ②今後の改善方策

- ・コロナ禍という大変な状況ではあるが、体験入学や進路ガイダンス等で本来の魅力を伝えていく事を今後も続けていく。

### ③特記事項

- ・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (8)財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

### ①課題

- ・特になし

### ②今後の改善方策

- ・特になし

### ③特記事項

- ・特になし

### ④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

### (9) 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

#### ①課題

・特になし

#### ②今後の改善方策

・特になし

#### ③特記事項

・特になし

#### ④学校関係者評価委員コメント

・特になし

### (10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

#### ①課題

・コロナ禍により、ボランティア活動等が難しくなっている。

・現状での実施困難。

・コロナ禍のため、学校外での活動を制限するしかない状況。

#### ②今後の改善方策

・特になし

#### ③特記事項

・コロナが終息したら、ボランティアやイベントの参加をさせていきたい。

#### ④学校関係者評価委員コメント

・特になし